

## 卒業生の意見を本学の教育・研究の改善に繋げるための

### アンケート結果を踏まえた今後の対応について

卒業生の皆様から頂いた貴重なご意見ご提案を踏まえて、広島大学の教育・研究、大学運営の充実に向けた取り組みを行うとともに、更なる改善に向けた検討を行っています。

#### 1. 大学生活全般について

本学では、大学生活全般において学生一人一人が社会で通用する基礎力及び実践的応用力を身につけることの重要性を認識しております。

そのための具体的方策として、学生の自発的活動を尊重することを目的とし、授業等の改善、海外留学の推進、地域活動、課外活動及びボランティア活動への支援を行っています。

今後も引き続き、皆様からのご意見等を踏まえ、検証・改善に努めて参ります。

#### 2. 教養教育について

教養教育では「幅広い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する。」という理念と社会情勢の変化なども考慮し、平成 23 年度から新カリキュラムを導入し、在学生からも寄せられる意見も反映しながら絶えずその改善を図っています。

なお、平成 23 年度からの主なカリキュラムの変更内容は次に掲げるとおりです。

- (1) 入学時に実施する「教養教育ガイダンス」の内容を大幅に見直し、入学の早い段階から教養教育を学ぶ意義も含め、その重要性が理解しやすい内容に変更して実施するとともにその継続的な改善
- (2) 英語の履修可能単位数を従来の 6 単位から 8 単位へと変更し、英語を含む語学全般の「自学自習を支援」するためのコンテンツやツールの充実
- (3) パッケージ科目に特化した「パッケージ別科目ガイドブック」を入学前に配布して事前にパッケージ科目についての理解を促すとともに、区分を 5 つのパッケージに再編成し改善・充実
- (4) 担当教員に授業方法を改善し対話型の授業（アクティブ・ラーニングの導入）推進するための F D(ワークショップ)を定期的を開催
- (5) 戦争のみならず貧困、人口増加、環境など、平和について様々な観点（戦争、貧困、人口増加及び環境など）から考えて理解を深め、自らが平和とは何かを考えるきっかけとしてもらうための科目区分として「平和科目群」を新設

### 3. 専門教育について

幅広い視野から物事を捉え、高い倫理性に裏打ちされた的確な判断を下す事の出来る人材育成のための主な取り組みとして、学士課程において、次に掲げる教育を行っています。

- (1) 到達目標型教育を実現するための教育プログラムの実施・検証・改善
- (2) 問題発見解決能力向上のための教育（ハーモナイゼーションPBL教育）  
－相手の立場で理解する能力の育成・専門外の考え方を含め、まとめる能力の育成－
- (3) 卒業時における外国語運用能力向上のため全在学期間にわたってのTOEICを実施（グローバル化社会に向けての対応）
- (4) 自学自習環境の整備・充実  
今後引き続き、皆様からのご意見等を踏まえ、検証・改善に努めて参ります。

### 4. 学生支援について

本学に入学された皆さんが、卒業されるまで充実した学生生活を送れるよう、就職・生活・課外活動等あらゆる学生生活のサポートを行っています。

授業料免除・奨学金における主な支援では、本学独自の奨学金制度として、学力が優秀でありながら経済的理由により大学進学が困難な人を支援する「広島大学フェニックス奨学制度」を創設しております。

今回のアンケート調査で、充実・改善してほしかったもので、一番多く上げられました進路・就職についての主な改善・取り組み内容は次に掲げるとおりです。

- (1) 大都市圏（東京・大阪）での就職活動を希望する学生支援として、就活支援バスツアーを企画し、校友会等組織と連携して現役学生と卒業生との交流の場の設定
- (2) 進路が決まった学生の協力を得て、就職活動を行う後輩に対して自らの体験をもとにサポートをしてもらうキャリアサポーター制度の充実
- (3) 広島大学消費生活協同組合と連携し、教員採用試験対策講座を実施
- (4) 東京オフィスと連携し、首都圏で就職活動を行う学生へ休憩スペースの提供  
今後引き続き、皆様からのご意見等を踏まえ、検証・改善に努めて参ります。